第 167 号(2011 年 4 月 1 日号) 幕張ベイタウンニュース編集局 http://www.baytown-news.net/

2011.3.11 14:46

東北太平洋沖大地震被災直後のベイタウン

2011年3月11日午後2時46分。東日本太平洋沖を震源とする大地震が日本を襲った。私たちの街幕張ベイタウンも街びらき後はじめての震度5強という強い揺れを体験した。埋め立て地に中層階でも6階、超高層では32階建てというコンクリートのマンションで構成された街は大丈夫だっただろうか。懸念されていた液状化は発生したのか。免震構造の建物と初期のマンションとの被害の差はあったのか。被災直後の街の様子を取材した。

▶地震直後の花見川沿い大通り。液状化で道路は波打ち、バスもクルマも通行不能で一時止まっていた。





同じく直後の花見川沿い大通り。ベイタウンでは 内部の被害よりも外周部での液状化による被害が 大きかった。



京葉線高架下東側の歩道で見つけたマンホール部 分の盛り上がり。これは実は盛り上がったのでは なく、液状化で歩道全体が地盤沈下したため。



海浜幕張公園の状況。石畳はアスファルトに比べると液状化による影響は少ないが、歪みは段差となって発生するようだ。



10番街エントランス付近の写真。もともと歩道より高くなっていたが、今回の地震で歪みが拡大して壊れた。



海浜幕張公園の芝生部分。ベイタウン内の公園や 校庭よりも液状化の影響が大きかった。



海浜幕張駅シネコン前の歩道の状態。地震後少し時間がたっているため道路は乾いているが、直後は液状化の水が冠水していたと思われる。



ず大きくなる。 ■はなかったが、こんな景色をみると地震に伴う不安油コンビナート火災の炎。ベイタウンに直接の被害油コンビナート火災の炎。ベイタウンに直接の被害が大きくなる。 ●10番街の歩道と建物敷地との境界部分に歪みが集中し、地割れや陥没を起ことの境界部分に歪みが集中し、地割れや陥没を起こ没。ベイタウン内ではこのように建物と歩道や道路を加入していた。



東北地方太平洋沖大地震 体験談

ベイタウンで家を守る

【城本 ファーストウイング在住】

3月11日。二人の息子たちは小学校、主人は会社、いつもと 変わらぬ日常でした。私は一人で家の中にいるときに突然大きな 揺れを感じました。「地震?!」と思い、慌てて玄関先まで行き ドアノブにつかまりました。揺れは一層激しくなり、マンション 全体を何かにゆすられているような感じです。ガタガタというよ り、ゴーッという強風のような音がしていました。しばらくして 揺れがおさまったので、テレビをつけると津波警報が太平洋沿岸 に出されていました。でも、東京湾の情報はなかなか入ってきま せん。我が家はマンションの一階です。「どうしよう……」。まず は学校に子どもたちを迎えに行く? それとも自分が高いところ に避難? 主人の会社も海沿いにあります。どこに行けば、何を すればいいのか混乱しました。しかし、ふと学校から緊急連絡網 が回ってくるかもしれないと気が付きました。マンション隣の消 防署には防災無線のスピーカーもあるので、津波が来るなら何か アナウンスがあるかもしれません。そう思って、しばらく動かず じっとしていることにしました。しかし、一向に学校からの連絡 もなく、防災アナウンスもありません。すると、打瀬小の校内ア ナウンスがかすかに聞こえてきました。「子どもたちは教室で待 機してください」との後、しばらくして「学年ごとに校庭へ出ま しょう」と聞こえてきました。外に出ても大丈夫だ。そう思って、 私も校庭へ急ぎました。

校庭にはすでにたくさんの保護者が集まっていました。小さい赤ちゃんを抱えているお母さんもいます。お母さん同士、互いに「大丈夫だった?」と声を掛け合っていました。そうしている間に、カラー帽子をかぶった低学年の子たち、防災ずきんをかぶった中・高学年の子たちが校庭に出てきました。どの子も慌てず、きちんと先生の指示に従い冷静に行動していました。子どもたちが無事であることを確認し安心したと同時に、大勢の子たちを災害から守ってくださった先生方に感謝の気持ちでいっぱいになりました。でも、保護者の中には不安を隠せない方も大勢いました。上の子が小学生、下の子が幼稚園というお母さんたちです。一人で、両方には迎えに行けず、みんな幼稚園の子たちを気にしていました。中には同じ幼稚園のお母さんに、「園で預かってくれていて、みんな無事らしい」という情報を伝えている方もいましたが、小学生を引き取ると皆、慌てて学校を後にしました。

私たち親子はその後自宅に戻り、主人も無事であることを電話 で確認できました。

今回の地震は昼間だったため、家族が別々の場所にいたことで 大変な思いをされた方が多いと思います。特に母親にとっては、 子どもたちが学校や幼稚園に行っている時間帯だったので、子ど もに怪我はないか実際に会えるまで心配でならなかったはずで す。幸いなことに、ベイタウンでは大きな被害はなかったようで すが、東北地方の惨状をテレビで見ると本当に恐ろしくなりま す。まだまだ日本全体が混乱状態ですが、今自分は何をすればよ いのか考えていきたいと思います。

防災行政無線について

千葉市総合防災課に確認したところ、千葉市内の防災行政無線は3月上旬から下旬までシステム改修中のため、防災放送がストップしていたとのことです。3月11日、東京湾には津波警報が出され90cmの津波が観測されました。本来であれば、大地震の発生及び津波警報放送が流れるはずであったそうです。4月から防災放送が再開されます。

超高層パークタワー30階で被災

【藤本 パークタワー在住】

台所に立っていた時、突然足元にドンドン・・・という振動を感じた。「地震だ」と思うと同時にその振動の大きさに「これは普通じゃない」とすぐに感じた。間もなく横揺れが来たがその揺れはかつて体験したことのないものだった。「立っていられない」。食卓につかまる以外何も出来なかった。リビングや台所にある引き出しという引き出しが開いたり閉まったりを繰り返し、ものすごい音を立てている。他の部屋からも何かが倒れる音や扉がいきおいよく閉まる音が響いた。「何かすごい事が起きている」。

子どもが学校にいることに気付き急いでベランダから校庭を見る。既に液状化による水溜りが何箇所かでき、海浜公園や公園大通りも同様だった。学校から教頭先生の放送が聞こえてきた。聞き逃すまいと窓を開けっぱなしにした。まだ教室で待機している。引渡しをする。放送からは状況がよくわかった。

最低限の荷物を持ち、エレベーターが止まっているので階段を降り始めた。階段で下まで行くのはこれが始めてだった。どこまでも続くように感じられる階段。途中ほとんど人には会わなかった。特別な恐怖は感じなかったが、それでも1階に着き重い扉を開け、広く明るいロビーに出た時、やっと少しほっとした。

徒歩と自転車でベイタウンへ

【市川 サウスコート在住】

突然の大地震の日、私は首相官邸の隣のビル5階で仕事をしていた。地震直後に自宅に電話をしたところ、一応無事とのことで一安心。交通機関がマヒ状態ということで夕刻5時半に帰宅を開始した。まず新橋から昭和通りで永代橋へ、それからは千葉に近い地名の表示にそって歩き始めた。歩く人がたくさんいて、特に不安はなかった。

休憩を取ろうにもほとんどの店舗はすでに閉まっており、開いている店には大行列。たまたまお菓子を持っていたのでそれを食べながら歩くことにする。コンビニには食べるものはほとんどなく、トイレも行列。しかし沿道の閉まっている店でも「トイレ使ってください」のビラをはってあってありがたかった。

歩き始めて3時間。ようやく葛西あたりに到着。「このまま歩けるだろうか」と急に不安がよぎった時、見慣れた自転車屋さん「セオサイクル」の看板を発見した。「そうか、自転車で帰ればいいのだ」そう思ったら急に元気が出た。

しかし同じことを考えた人ははたくさんいた。自転車はあと数 台しかないのに行列。諦めざるを得なかった。

またとぼとぼ歩いていくと、煌々とあかりをつけている一件の店、「ドンキホーテ」。なんと自転車があった!!さすがのドンキでは、店員を増やして対応していた。30分ほど並んで自転車を購入。ほかにカイロや手袋などの防寒用品も買って出発する。青い看板が浦安を表示していた。このあたりまでは歩く人がたくさんいたが、そのあとはがっくりと減る。

いつも京葉線で見ている国道 357 号をひたすら走った。市川 に入り倉庫街を越え、橋を渡りやっと船橋。谷津干潟の辺りでは 真っ暗で信号もついていなかった。自転車のライトがとても明る く感じた。だんだん幕張新都心に近づくにつれ灯りが増えていった。

やっとベイタウンの我が家に着いたのは夜中の 11 時半。その 日のうちに帰りたいという目標は達成することができた。

今回の経験で、とにかく自力で家に帰ることは可能なのだということが分かったと同時に、電車のありがたみを感じた。

【金 3番街在住】

港区虎ノ門にある私の職場は1979年施工の地上16階・地下3階のビルだが、2年ほど前に耐震構造の強化を主な目的としてビル全体のリニューアルを行っていたことと、事務所が1階にあることから、強い地震がきたときも多少の安心感があった。

職員には、上から物が落ちて来るかも知れない外に出るより も、事務所の中の方が安全である点を説明し、室内に留まるよう に指示した。

しばらくすると、建物の外に避難した人が集まり始めた。地下 鉄が止まってしまった為バス停に長い行列ができ、早くも午後4 時ごろから歩道に歩いて帰宅する人があふれる程になっていた。 職員の帰宅を優先したかったが、交通手段が確保できないのでし ばらく様子を見ることにした。

反省すべき点は、社内に非常食等の備えがなかった事である。 長丁場になる気配があったので、まずは早めに近くのコンビニで 食料と飲料水を確保したが、追加分を購入しようと2回目に行っ た時には当然ながら棚はからっぽであった。

そんな中、神奈川県の橋本を目指して夜の7時に出発した徒歩組は、新宿まで行ってみたが電車がまったく動いてなかったので、さらにそこから渋谷に移動し、動き始めた田園都市線で行けるところまで行き、家族に車で迎えに来てもらっている。このケースで自宅まで7時間。

社用車で女子職員を帰宅させるため、渋谷・新宿・上野方面に分かれて出発した車組は、虎ノ門交差点付近から国会議事堂裏までの短い区間を移動するのに2時間かかる状態だったので、あきらめて一旦会社に戻り、ソファーで仮眠後、朝の5時に再度出発した。

銀座線は早々に復旧していたが、JRが動いていなかったため、 渋谷駅や、上野駅で乗客が溢れてしまい再び翌朝まで止まってし まった。

会社に2台ある自転車は、ジャンケンに勝った職員が乗って帰っている。

今回の震災で、改めて普段からの備えがいかに大事であるかを 再認識し、車はガソリンの確保を含めまったく役にたたない事も 確認した。

災害に弱い京葉線は今後の災害時も当然動く事は期待できないので、会社のロッカーの運動靴を軽登山靴に取り換えて用意し直した。そして折り畳み自転車の用意を真剣に考えている。

※ ベイタウンニュースでは以前に「東京から家まで歩いて帰ってみました」という記事を掲載しています。

http://www.baytown-news.net/ で 2005 年 10 月号と 11 月号 をご覧になってください。

4月のコア・イベント

4月 16 日(土)わくわくお話し会 4月の常設お話し会

4月の常設 お話し会

時間:10:30~ 場所:ベイタウン・コア 講習室(途中入場もできます) 今月もわくわくするおはなし、ゲームを用意してお待ちしています。 年齢制限はありません、絵本の好きな大人も子どももぜひ来てね! 予約は不要です。** 読み手も募集中、見学歓迎 **

お問合せ先:井上 (211-0188 wak2@yahoogroups.jp)

4月24日(日)ファツィオリの会(コア文化振興基金後援事業)

第 93 回ファツィオリの会

時間:9:30~11:30 場所:ベイタウン・コア 音楽ホール

月に1度、イタリアのフルコンサートピアノを囲んで楽しむ会です。ピアノ以外の楽器演奏や声楽でもご参加いただけます。非公開でもご利用いただけますので、お気軽にお申し込みください。定員になり次第締め切らせていただきます。

最新のプログラム内容は http://www.baytown.ne.jp/core/ をご覧ください。

申込締切:4月16日(土) 連絡先:TEL/FAX:211-6008(林)

コアに最新型ピピッとコンロ4台

コアの調理室に東京ガスの最新型調理用レンジ 4 台が寄付された。TVCMでもお馴染みの「ピピッとコンロ」という機種だ。これは東京ガス千葉支店が毎年公民館を対象に寄付しているもので、今年は打瀬の他 2 公民館に対して行われた。公民館によって設備が違うためコンロの機種も異なるようだが、打瀬のものは最新型で価格的には 1 台 20 ~ 30 万円。 4 台では 100 万円を超えるという。

新しいガスコンロの設置を記念して、コアでは3月2日午前10:30から早速東京ガスによる使用説明会を兼ねた「料理教室」が開催された。会には公募による20人が参加し、「炊き込みご飯」など3種類の料理を作って楽しんだ。



ベイタウン・コア 音楽文化振興基金スケジュール

2月に行われた「第4回音楽レストラン 須関裕子のピアノ物語」 にはたくさんのご来場ありがとうございました。

ベイタウン・コア 音楽文化振興基金では今年度は下記2回の コンサートを予定しています。今後ともみなさまのご支援をお願 いします。

8月28日(日) FAZIOLI 調律師 越智晃氏 「ショパンコンクールの裏側を語る!」

2010年はじめてショパンコンクールの公式ピアノとなり演奏者が3位に入賞したFAZIOLI。楽器の高い音楽性に称賛の声が上がっている。

その調律を担当した越智氏に、ショパンコンクールの舞台裏と今注目のピアノ FAZIOLI について熱く語って頂くことが決定! 出場ピアニストによる FAZIOLI での演奏も予定。

12月23日 (金・祝)

黒川 侑 ヴァイオリン・リサイタル

コア ホールでは恒例になってきた黒川侑氏のヴァイオリンリサイタル。今年も12月23日(金・祝)に開催されることになりました。現在ウィーンからブリュッセルに移って留学生活をつづける黒川侑氏。今回もまた一回り大きくなった演奏を聴かせてくれるでしょう。プログラムなど詳細は決定次第お知らせします。

4月 23 日(土)寺子屋工作ランド

内容はコアのアトリウムに掲示しています。

時間: 9:30 ~ 11:30

場所:ベイタウン・コア 工芸室 持ってくるもの:小刀、タオル 参加費:50円(保険料)

第 18 回ベイタウンコンサート Early Summer Concert

日時: 6月26日(日) 13:00 開演(予定)

場所:ベイタウン・コア 音楽ホール

ピアノ・その他の楽器・声楽など、ソロ・アンサンブルでの出演者 を募集いたします。

連絡先: 青木 Tel:213-1747

受付: 4月16日(土)まで 定員になり次第締め切らせてい

ただきます。

